

会議録（１）

会議の名称	令和２年度 第１回飯能市地域福祉審議会 及び飯能市地域福祉活動計画推進委員会	
開催日時	令和２年７月２８日（火） 開会 午後６時３５分 閉会 午後８時２８分	
開催場所	飯能市総合福祉センター ３階 大会議室	
議長氏名	田中 英樹	
出席委員	田中 英樹 角田 健一 岡野 民嗣 橋本 誠一 綿貫 まなみ 窪寺 朋子 清野 剛義 大野 泰規 大野 康 浅見 豊樹 濱中 政雄 松下 明男 森井 健一 佐藤 要 野村 五郎	
欠席委員	なし	
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 地域・生活福祉課長 地域・生活福祉課主幹 飯能市社会福祉協議会事務局長 飯能市社会福祉協議会主幹 飯能市社会福祉協議会主任 飯能市社会福祉協議会主事	町田 守弘 竹井 伸次 篠田 治久 双木 和宏 野田 剛 梅木 裕也 黒澤 太輔
傍聴者の数	なし	
会議次第	別紙のとおり	
配布資料	別紙のとおり	
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 地域・生活福祉課長 地域・生活福祉課主幹 地域・生活福祉課主事 飯能市社会福祉協議会事務局長 飯能市社会福祉協議会主幹 飯能市社会福祉協議会主幹 飯能市社会福祉協議会主幹 飯能市社会福祉協議会主任 飯能市社会福祉協議会主事	町田 守弘 竹井 伸次 篠田 治久 馬場 俊一 双木 和宏 高橋 克巳 本村 洋 野田 剛 梅木 裕也 黒澤 太輔

会議録（2）

議事録の概要〈経過〉・決定事項

議事

- (1) 会長、副会長の互選について
互選により、会長、副会長を選出した。
- (2) 第3次はんのうふくしの森プラン 令和元年度実績報告について
配布資料について、事務局が説明し、承認された。
- (3) 第3次はんのうふくしの森プラン 令和2年度実施計画（案）について
配布資料について、事務局が説明し、承認された。

会議録（3）

発言者	発言内容
地域・生活福祉課長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>会長が選出されるまでの間、健康福祉部長が仮議長となり、議事を進めたいと存じます。</p>
仮議長	<p>市長に代わり仮議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず始めに、「(1) 会長、副会長の互選について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
地域・生活福祉課長	<p>会長、副会長につきましては、規定により「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。」とありますので、委員の皆様により互選をお願いします。</p> <p>説明は以上です。</p>
仮議長	<p>説明は以上です。</p> <p>互選については、自薦、他薦を問いませんが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>第1期より務めていただいている田中委員を会長に推薦したいと思えます。</p>
仮議長	<p>副会長についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>はんのうふくしの森プラン推進市民会議の座長になっていらっしゃる大野康委員にお願いできればと思えます。</p>
仮議長	<p>会長に田中委員、副会長に大野委員というご推薦がございました。</p> <p>田中委員は遅れているということでこの場にはおりませんが、大野委員はよろしいでしょうか</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p> <p>その他の委員の皆様もよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（拍手）</p> <p>異議がないようですので、決定とさせていただきます。</p>

	<p>それでは、会長、副会長が決定しましたので、これ以後の進行につきましては、現在のところ会長が不在のため、副会長に進行をお願いさせていただきまして仮議長の任を降ろさせていただきます。</p>
地域・生活福祉課長	<p>それでは、会長、副会長は前方の席に移動をお願いします。ここで、副会長にご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>(副会長あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。 これより副会長が議長となり、議事の進行をお願いいたします。</p>
副会長	<p>それでは、議事を進めます。「(2) 第3次はんのうふくしの森プラン令和元年度実績報告について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
社会福祉協議会主任	<p>(資料1-1を説明)</p>
地域・生活福祉課主幹	<p>(資料1-2を説明)</p>
地域・生活福祉課長	<p>ここで、田中会長が到着されましたので、説明の途中でありますが、ご挨拶をいただきたいと思えます。</p> <p>(会長あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。 これより、議事進行につきましては会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、社協の実績報告について、事務局より説明をお願いします。</p>
社会福祉協議会主事	<p>(資料1-3を説明)</p>
会長	<p>説明は以上です。各報告について質疑応答を行います。皆様からご質問、ご意見、確認事項はございますか。</p>

委員	計画の実施にあたって、市、社協それぞれのP D C Aサイクルの期間、システムはどうなっていますか。
地域・生活福祉課主幹	P D C Aについて、毎年年度末に関係各課より報告をいただき、その内容について、年に1回、関係各課のメンバーの組織による地域福祉計画推進庁内連絡会議を開催し、各課の取組実績についてチェックを行い、意見をいただく機会を設けています。
社会福祉協議会主幹	市と比べて組織が小さいため、定例的に開催している係長級以上が集まる主査以上会議にて、進捗状況、実施計画の確認を行っています。概ね年単位で行っています。
委員	福祉避難所の充実を図ることができていないようですが、人口1万人を超える美杉台地区にいまだにありません。自然災害が多発している、ひっ迫した状態の中、実績なしで済ませず、よく考え、あるいは美杉台地区になれば、近くのどこに行けば良いというような避難協定を結んでいただきたいです。
健康福祉部長	福祉避難所の必要性は認識しており、危機管理室と協議を進めています。どういう形になるのか現時点ではお示しできませんが、毎年のように豪雨等がある状況であるため、早急に対応できるよう取り組んでまいります。
議長	福祉避難所は福祉という言葉が入るように、一般の避難所と違い、福祉的な配慮ができるスペースの必要などが想定されます。
健康福祉部長	福祉避難所をどういう形で対応していくのか協議を続けているところです。飯能市の場合、土砂災害の警戒区域も多くあり、総合的に勘案しながら進めなければならないと考えています。
委員	ハザードマップが全戸配布されていると思いますが、渡すだけでなく、命を守るため、市民にもっとP Rし、活用ができるような取組をしたら良いのではと思います。
地域・生活福祉課長	昨年の台風19号では浸水被害も多く、土砂災害だけでなく、色々な災害を想定して、自主防災組織の皆さまと連携しながら、市民の皆さまの生命、財産を守る取組に努めております。ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
委員	昨年の台風19号に際して山間地域の方が避難しましたが、福

健康福祉部長	<p>社避難所の認知度が低く、足が悪い方がすぐ近くに福祉避難所があることを知らずに行けず、自宅で待機していたということがありました。設置の数も大事ですが、認知度の評価を次回の計画では入れていただくと、地域の安心というところの評価がより見えると思います。</p>
委員	<p>福祉避難所の認知度が低いことは認識しており、市民の方々に周知していかなければならないと考えています。昨年台風19号の後、危機管理室が各地区に回ってそれぞれの現状、課題等の聞き取りを行いました。その中で福祉避難所の説明も行ったところではありますが、今後もより一層周知を徹底してまいります。</p>
地域・生活福祉課長	<p>危険なところに避難所があり、避難所に避難した方が逆に危険と感じるような場所があります。立地をよく考えて避難所の設置をお願いしたいです。</p>
委員	<p>市で開設する避難所は基本公共施設です。山間地域については、ご意見のとおり、土砂災害警戒区域に立地する公共施設が避難所となっている場合もあります。命を守るための避難所であるため、避難所のあり方も検討してまいりたいと思います。</p>
地域・生活福祉課長	<p>この計画を作った後に新型コロナウイルス感染症の問題が発生し、大きな影響を与えています。まだまだ続くと思われ、計画の達成のためには、感染症対策をしながらの、やり方を考えなければならないと思います。また、第3次プランの策定に関する提言書があるので、もう一度見直して手段を考えてみると良いと思います。</p> <p>また、プランの認知度について、地域の集まりなどで積極的にPRすることをしてもらったら良いのではと思います。</p>
委員	<p>このプランのキャッチフレーズは「新たなつながりと支え合いが育むふだんのくらしのしあわせ」となっています。第3次プランの策定時はコロナが無かった時代ですが、今後はコロナの状況下でどのような支え合いをしていくか、つながりを作っていくかという点が大事になります。プランの推進にあたって市、社協でも考えていきますが、委員の皆様からのご意見もいただけたらと思います。</p>
委員	<p>出前講座について、この課ではこんなことをしているというPRであったり、市民の方に取り組んでもらいたいことを伝えられる場になると思うので、もっとPRをすると良いのではと思いま</p>

健康福祉部長	<p>す。</p> <p>教育委員会の生涯学習課が所管しており、毎年全庁的にメニューを集め周知を行っています。ご意見をふまえながら内容の充実を図り皆様に提供できるように進めてまいりたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、第3次はんのうふくしの森プランの令和元年度の実績報告については、承認するという事によろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、承認することといたします。</p> <p>続きまして、「(3) 第3次はんのうふくしの森プラン令和2年度実施計画(案)」を議題といたしますので、事務局から説明をお願いします。</p>
地域・生活福祉課主幹	(資料2-1を説明)
社会福祉協議会主幹	(資料2-2を説明)
会長	説明は以上です。皆様からご意見やご質問はございますか。
会長	「はんのうふくしの森みらいカレッジ」について補足説明をいただけますか。
社会福祉協議会主幹	<p>ふくしの森サポーターの育成を第3次プランの重要なポイントの一つとして位置付けています。昨年度、はんのうふくしの森プラン推進市民会議にて協議し、プランの周知、啓発を目的とした「ふくしの森サポーター」の養成と、今後の地域福祉活動をリードしていけるような人材として「ふくしの森リーダー」の育成を目的に「みらいカレッジ」という名称で地域福祉に関する学びの機会を作っていきたいと考えます。講師については、田中会長をはじめ、飯能市内で地域福祉活動で活躍されている方々をお招きしながら講座を開催して新たな担い手を育成してまいりたいと考えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見等がないようでしたら、今回説明のあった実施計画の内容については承認するという事でご異議ありませんか。</p>

(異議なし)

それでは、承認することといたします。

私から若干の補足をさせていただきます。

今回のコロナ禍で福祉活動が全国的に弱くなっています。特に訪問介護や訪問看護など出かける活動、アウトリーチ活動がやりにくくなっています。もう一つ、所定の活動、たまり場の活動が弱くなっており、ほとんどの市町村で取りやめといった状況になっています。

社会活動全般の再生が厳しい状況が続いています。コロナの終息に期待するのではなく、コロナがあってもどういう福祉活動、地域活動ができるのか考えなければなりません。そういう意味では対面で接して支え合っていく形でなく、非対面で何ができるのかということを考えなくてはなりません。今回のような会議もそうですが、最近ではオンラインでの会議も始まっており、ICTを活用したコミュニケーションを考えざるを得ません。しかし、福祉の利用者はそのための機材や知識が十分でないことが多く、例えば機器の配布やサポートなど、様々なICTの活用に関して丁寧に教えていくといった新しい取り組みを行っていく時期なのかなと思います。是非その点をこの計画に刷り込んでいくことをよく検討していただければと思います。私の方からの補足は以上になります。

本日の議事は以上になりますので、これをもちまして議長の任を解かせていただきます。

委員の皆様、積極的なご意見、ご協力ありがとうございました。

議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 年 月 日

議長の署名 _____